



令和6年度

8・9月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和6年8月29日



三大幼 HP は
こちらから



積み重ねの大切さ

園長 安田 徳章

今年の夏休みはご家族皆様で、パリオリンピックでの選手たちの活躍に感動したり、勝負の行方にドキドキ・ハラハラしたりした方も多いのではないのでしょうか。私も、様々な競技の沢山の選手たちの姿に感動や勇気をもらいました。また、競技を終えた後のアスリートの言葉にも、その素晴らしさに何度も感動をいただきました。

印象に残った言葉はいくつもありますが、ここでは、アスリートではなく、ある女性の言葉をご紹介します。

その女性は自身の被爆体験を基に、核兵器廃絶の機運を高めたいという願いを世界に向けて伝えている方です。その方は「状況は厳しくても希望を失わない大切さ」を言葉にして世界を巡りました。そして、講話の後の海外の若者からの、核兵器のない世界に向けて何をすべきかアドバイスを求める質問に「他国の友人をたくさん作ってください。それだけでも世界を少し平和にできます」と答えていました。さらに、取材をしているテレビ局の方のインタビューには、「知り合って、話をする。そこからですからね。何とかね、1センチでも2センチでも本当に止める方向に向かっていければいいな」とお話をされていました。自分のできることをひとつひとつ積み重ねること、平和を願う気持ちをつないでいくことが、確実に平和な世界を築く一歩になることを改めて感じました。

毎年、平和を願う式典等のニュースに触れる度に、平穏な日常が繰り返し訪れてくれることにとってもありがたい気持ちになります。この先の長い人生を生きていく子どもたちに思いを向けると、これから出会う多様な人たちと、気持ちをつないで平和な社会を確かに築いていってほしいと思います。本日から始まる幼稚園生活の中でも、多様な他者と力を合わせるために求められる様々な力を確かに育ててほしいと願い、日々の教育の充実を目指してまいります。

いよいよパラリンピックも始まりました。オリンピック・パラリンピックに刺激を受けて、存分に体を動かし、心も豊かに動かしながら、大切な経験を積み重ねぐんぐん伸びる子どもたちに応援をよろしく願いいたします。



今月の指導のポイント



年中りんご組

幼稚園に入って初めての夏休み、いかがお過ごしでしたか？子どもたちや保護者の皆様にお会いするのを楽しみにしていました。

久しぶりの幼稚園生活が始まります。不安や緊張など一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにしていきます。また、身支度や生活の流れを丁寧に確認したり、教師や友達と夏休み前に楽しんでいた遊びをしたりしながら、園生活のリズムを少しずつ取り戻せるようにします。

園庭でかけっこや運動遊び、ダンスなどを教師や友達とすることで、のびのびと体を動かす楽しさを感じられるようにします。

園庭の自然にも変化が見られます。草花や虫に興味をもって見たり触れたりしながら、自然と関わって遊べるようにしていきます。

年長にじ組

とても暑い夏休み、いかがお過ごしでしたか？園庭には、たくさんのセミの抜け殻がありました。

子どもたちが、園生活のリズムを思い出し、自分で行えるようにしていきます。そして、友達と休み前に楽しんでいた遊びに取り組んだり、夏休みにしたことを再現して遊んだりして、友達とのつながりを深めていけるようにします。

様々な運動遊びに取り組む中で、自分のめあてに向かって繰り返し挑戦することや友達と力を合わせることで、互いに励まし合いながら取り組むことなどを経験できるようにします。めあてに向かって取り組む充実感や友達と力を合わせてできた満足感を味わうことで、自信につなげていきたいです。

また、新たな栽培を始めながら、自然への関心をもてるようにします。